



学校だより

桐里っ子HP版

須坂市立井上小学校

平成28年2月12日

文責：校長 宮坂

猛威！！インフルエンザ 流行 うがい、手洗いの励行 マスク着用

毎年この頃になると、学校とご家庭ではらはらときどきしますね。今年は暖冬だったので、インフルエンザの流行が遅くやってきました。今まさに「最中」です。ご存じのように「学級閉鎖」のクラスも出ています。インフルエンザは潜伏期間が通常1～2日なので3日程度学級閉鎖をすると終息していくのが通例です。が、井上小で今流行しているB型はしぶといらしく、感染の鎖がなかなか切れません。予防が一番＝うがい・手洗いの励行 マスク着用をよろしくをお願いします。「マイコプラズマ肺炎」「溶連菌感染症」も出ています。こちら飛沫感染なので、予防はインフルエンザ同様です。

2月は最後の参観日が予定されています。学校にお見えになる保護者の皆様、地域の皆様も「マスク」をされることをお勧めします。

さて、このようなインフルエンザ流行の余波を受けて、児童会長改選の時期ですが、立ち会い演説会を「TV放送」で行い、選挙は体育館ではなく各学年の廊下で見守りの元、行いました。

今年度は「書画カメラ」と「和太鼓」購入。



井上財産区の皆様から、毎年木工作品を中心に寄贈いただいております。今年度は学校の要望に応じていただき、「書画カメラ」（左写真…TVやプロジェクタにつないで見る実物投影機です）と「和太鼓」を寄贈いただきました。カメラは6台購入し、各学年で活用させていただきます。ありがとうございました。

2月の校長講話の概要をお知らせします。感染予防のため、講話も放送で行いました。

節分というのは「季節の分かれ目」という意味です。季節には一年を四等分した「春夏秋冬」のほかに、一年を二十四等分した「二十四節気」と七十二等分した「七十二候」という、細かな季節の移り変わりが実はあるのです。さて、節分という「季節の分かれ目」の日は、二十四節気の「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日のことで、年に4回あるものでしたが、今ではほとんど立春の前日だけをさすようになりました。それが今日です。

むかしの暦（カレンダー）では、「立春」で冬が終わり春になって新しい年が始まると考えられていたため、立春の前日の「節分」は今の大晦日のように特に大切にされたのです。そしてお正月の神様を迎える行事と、寺や神社が邪気払いにした「豆うち」と、平安時代に中国から伝わった疫病神を追い払う「ついな」の儀式が交じって、今のような「豆まき」が行われるようになったようです。煎った豆には邪気を払う力があるとか、「豆」の音が魔物が滅亡する「まめつ」に似ていることから「オニは外、福は内」のかけ声が始まったとか、いろいろな説があります。自分の年の数だけ豆を食べると健康になると言われていますね。

図書館には、お話ししたような暦にあった行事のお話分かる「和の行事絵本」とか「365日ものしり百科」などの本があります。3の棚にありますよ。読んでみて下さい。調べ物の本がすぐ広げられるように、図書館を模様替えしました。入り口がちょっと遠くなりましたが、その分図書館の廊下を楽しんで下さい。